

2023年7月15日公開  
Ver.1

# YUI みらい プロジェクト

## ジェンダー視点のある 地方創生助成 募集要項

応募受付期間 2023年7月20日(木)午前10時~9月30日(土)15:00(必着)  
結果通知 2023年10月31日(火)までにすべての応募団体に通知



公益財団法人 みらい RITA

**ジェンダー視点のある  
地方創生助成 応募までの流れチェックリスト**  
※詳しくは募集要項本文をご参照ください

		やること	リンク(クリックしてください)
<input type="checkbox"/>	必須	申請書式をダウンロードする。	<a href="https://mirairita.org/yui-mirai/index.html#link04">こちらから https://mirairita.org/yui-mirai/index.html#link04</a> ダウンロード頂けます。
<input type="checkbox"/>	任意	オンライン説明会に参加する。	<a href="https://mirairita.org/yui-mirai/index.html#link05">こちらから https://mirairita.org/yui-mirai/index.html#link05</a> 説明会の日程確認、申込を頂けます。
<input type="checkbox"/>	任意	募集要項の内容でわからない箇所があるなど、必要に応じて YUI みらい事務局に問い合わせをする。 ※2 営業日以内に返信致します。	<a href="https://mirairita.org/yui-mirai/contact.html">こちらのお問い合わせフォームから https://mirairita.org/yui-mirai/contact.html</a> ご質問を送れます。
<input type="checkbox"/>	必須	申請書のドラフトを作成する。	
<input type="checkbox"/>	必須	団体の直近年度の事業報告書・決算報告書を準備しておく。 ※作成していない場合はその旨、応募の際にお知らせ頂きます	
<input type="checkbox"/>	必須	団体登録をする。 ※申請する方は必ず事前に団体登録をお願い致します。申請書の締め切りは 2023 年 9 月 30 日 15:00 ですので、 <b>団体登録はその前に十分に余裕をもってお願い致します</b> 。団体登録から申請書の提出まで間が開いても構いません。	<a href="https://mirairita.org/yui-mirai/form.html">こちらから https://mirairita.org/yui-mirai/form.html</a> 団体登録をお願いします。
<input type="checkbox"/>	任意	申請内容に関する不安・不明点等について、個別相談をする。 ※相談申し込みの受付は 9/1 までです。枠に限りがあるため、お早めにお申し込みください。	<a href="https://mirairita.org/yui-mirai/consultation.html">こちらから https://mirairita.org/yui-mirai/consultation.html</a> 個別相談のお申し込みを頂けます。
<input type="checkbox"/>	必須	申請書を完成させる。 ※提出後の差し替えはできませんので、 <b>内容に間違いがないか十分にご確認ください</b> 。	
<input type="checkbox"/>	必須	申請書、予算書を提出し、応募する。 <b>締め切り: 2023 年 9 月 30 日 15:00(必着)</b> ※余裕をもってご応募ください	<a href="https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeaKmmSSCG5bCz9WSQYk1oj7iIsVLS-okJ260iJYGldwNKGgQ/viewform">こちらから https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeaKmmSSCG5bCz9WSQYk1oj7iIsVLS-okJ260iJYGldwNKGgQ/viewform</a> ご応募をお願いします。

# YUI みらい プロジェクト

## ジェンダー視点のある 地方創生助成 募集要項

### 目次

1. はじめに.....	1
2. YUI みらいプロジェクトについて .....	1
3. ジェンダー視点のある地方創生助成について .....	2
4. 対象となる団体.....	6
5. 助成金額 .....	6
6. 応募について.....	7
7. 事前説明会・個別の相談会について .....	8
8. 選考方法 .....	8
9. 選考結果の通知 .....	9
10. 助成先団体に求める対応.....	9
11. お問い合わせ先.....	10
12. 応募に関する個人情報の取扱いについて .....	10
別紙： 申請書作成の手引き .....	11

## 1. はじめに

ジェンダー平等と女性・女の子のエンパワーメントは、持続可能な開発目標(SDGs)に掲げられた国際社会共通のゴールです。実現するには、性別役割分業を前提とした社会・経済の仕組みを変革すること、社会を構成する多様な人たちが協働することが不可欠だと SDGs は提唱しています。

一方、「グローバルジェンダーギャップ報告書 2023」(世界経済フォーラム)によると、日本の男女格差は146カ国中125位で、過去最低を記録しました。官民で「女性活躍」を掲げてきたものの、格差は依然として深刻であり、改善のスピードが著しく遅いこともわかります。今、日本で求められているのは、社会の変革を促すことに主眼を置いた、官・民・市民社会の多様なステークホルダーによる取り組みではないでしょうか。

## 2. YUI 未来プロジェクトについて

公益財団法人 未来 RITA は、2017年の設立以来、未来の世代にとってよりウェルビーイングで持続可能な社会を実現するための取り組みを、助成金と伴走支援で応援しています。そのなかでも日本の最大の課題の一つであるジェンダー不平等に取り組む事業に注力してきました。

そして、世界各地で女性・女の子の支援を行ってきたシャネル財団と 2023年2月にパートナーシップを結び、「すべての人の人権が尊重されるジェンダー平等社会に向けて」というビジョンのもと、ジェンダー平等推進に特化した助成金プログラム「YUI 未来プロジェクト」を新たに立ち上げました。「YUI 未来プロジェクト」では、総額約1億3,000万円を日本でジェンダー平等推進に取り組む団体に対して助成します。

「YUI」は「つながり」や「結びつき」を意味し、このプロジェクトで、ジェンダー平等と女性・女の子のエンパワーメントを行う団体やリーダーがつながること、現場の生の声を政策につなげること、そして、みんなの活動をステキな未来につなげていく、という思いを込めています。

YUI 未来プロジェクトには、二つの助成プログラムがあります。ひとつは「ジェンダー視点のあるソーシャルインパクト助成」、もうひとつは「ジェンダー視点のある地方創生助成」です。どちらも「事業費」と併せて、「組織基盤強化のための経費」も助成対象となります。活動を社会に波及させていくためには、支援者・協力者層の拡大、情報発信、経理等、組織基盤の強化が欠かせないからです。未来 RITA による「伴走支援」も含めて、助成先団体の中長期的な成長とインパクト創出を応援します。

**この募集要項は、「ジェンダー視点のある地方創生助成」についてのご説明です。**

「ジェンダー視点のあるソーシャルインパクト」とは趣旨や、応募内容が異なるので、募集要項をご覧のうえ、ご自分の団体にあった助成プログラムにご応募ください。

### 3. ジェンダー視点のある地方創生助成について

2000年代に入ってから、地方の若年女性が都市部にどんどん流出しています。その背景には、「働きがいのある職場がない」「女性の仕事は限られている」「結婚・出産への重圧がある」「家事・育児、地域の仕事の責任が女性に偏っている」など、家庭・職場・地域社会に根強く残るジェンダー規範・慣行があると指摘されています。

人口減少・地方創生は喫緊の課題とされ、全国でさまざまな取り組みが行われていますが、持続可能な地域社会を創るうえで最も重要なステークホルダーである「ユースの参画」(10代～20代の若者)や、男女別データやジェンダー統計等の「エビデンス」に基づく施策を行っている自治体は少ないのではないのでしょうか。

そこで、「ジェンダー視点のある地方創生助成(以下、地方創生助成)」では、「地域のありたい姿(長期ビジョン)」の実現に向けて、家庭・職場・地域社会に根強く残る性別役割分業意識や、それを前提とする仕組み・慣行を「官・民・市民社会の連携」によって変革する取り組みを支援します。

一般的な助成金応募の進め方と違い、「地方創生助成」では、応募時点では、取り組み内容は決めません。申請書に記載していただいた応募動機と、地域のありたい姿(ビジョン)等をベースに審査します。採択されますと、みらい RITA のサポートを受けながら、地域のユース、官・民・市民社会が参画する「未来ワークショップ」を開催していただきます。ワークショップを通じて、ビジョンと具体的なアクションプランを共に創り上げていきます。詳しくは、「応募から助成への流れ」をご参照ください。

また、活動を社会に波及させていくためには、支援者・協力者層の拡大、情報発信、経理等、組織基盤の強化が欠かせません。地方創生助成では、事業費だけでなく、応募団体の組織基盤強化に必要なさまざまな経費も対象とします。そのほか、ご相談に応じて専門家による事業および組織基盤の強化に必要な伴走支援も行うことで、団体の中長期的なインパクト創出を応援します。

まずは、ご自分たちがやりたいことと助成金の趣旨が合致しているか、次のチェックリストで確認し、応募を検討してください。

## ジェンダー視点のある地方創生助成 マッチ度チェック

ご自分たちの団体の方向性と、助成の趣旨が合致しているかチェックしてみましょう。

「はい」が多ければ多いほど、マッチ度が高くなります

ご自分たちの団体について	
自分たちは、家庭・職場・地域社会に根強く残るジェンダー規範・慣行やジェンダーギャップを解消していきたい。	はい    いいえ
行政(官)、地域経済団体や金融機関(民)、市民社会組織(皆さんのような団体やその他地域の団体)が縦割りではなく、これまで以上に強く横連携・協力して、地域のジェンダー課題に取り組んでいきたい	はい    いいえ
地方公共団体および地域経済団体(商工会議所、企業・地域金融機関・経営者の団体・グループ等)とのネットワークがある。または、これまでに協働した実績がある(行政職員やビジネスパーソンに協力してもらったことでもOK)	はい    いいえ
地方公共団体および地域経済団体とともに、ジェンダー課題解消のビジョンを描き、連携しながら取り組みを進めるためのコーディネーター役はできると思う	はい    いいえ
地域のジェンダー平等を推進していくために、今後自分たちの組織基盤を強化していきたいと考えている	はい    いいえ

## 応募から助成までの流れ

<b>ステップ 1</b>	<b>応募</b>	
「6.応募について」に書かれた手順に従って応募します。		
▼		
<b>ステップ 2</b>	<b>選考</b>	
書類審査を通過した団体は面接を受けます。みらい RITA は審査の視点に沿って厳正に選考します。結果は 10 月 31 日までにお知らせします。		
▼		
<b>ステップ 3</b>	<b>オリエンテーション</b>	
選考された団体は、11 月にオリエンテーション(オンラインで半日を予定)として、ジェンダー視点のある地方創生の事例や未来ワークショップの実施方法について学ぶとともに、選考団体同士と知り合います。		
▼		
<b>ステップ 4</b>	<b>未来ワークショップ開催準備</b>	<b>助成金一律 30 万円</b>
参加者を募り、会場を押さえます。未来ワークショップはできる限り 2024 年 2 月までに実施してください。開催日が決まった時点で、準備とフォローアップのために、準備金として 30 万円をお支払いします。地域内の交通費や文具の購入、人件費の補填等にご利用ください。 ※ファシリテーター派遣、会場費などの支払いはみらい RITA が行いますので、助成先団体の負担はありません。		
▼		
<b>ステップ 5</b>	<b>未来ワークショップ開催</b>	
「未来ワークショップ」を実施します。1 日目は「ユース」(10 代~20 代の若者)を中心に実施し、2 日目はユースの声に応じて、地方公共団体(行政)、地域経済団体(商工会議所、企業・地域金融機関・経営者の団体・グループ等)、応募団体はじめとする市民社会団体が「あるべき未来の姿」を共に描き、そこに向かうアクションのアイデアを出し合います。		
▼		
<b>ステップ 6</b>	<b>アクションプラン・予算作成</b>	
未来ワークショップで出たアクションのアイデアを具体的な計画に落とし込み、予算も作成します。みらい RITA のジェンダー専門家チームが必要に応じて伴走支援をします。また、ご自分たちの団体の、組織基盤強化の計画や予算も同時につくり、合計の予算を提出します。1 か月ほどかかる見込みです。		
▼		
<b>ステップ 7</b>	<b>助成金金額確定</b>	<b>助成金(最大 700 万円・団体による)</b>
具体的な計画に基づき、助成額が決まります。未来ワークショップの開催、アクションプラン・予算作成の時期をいつにするかには個別に相談。早い場合は 1 月に助成金額が確定し、順次具体的な取り組みがスタートします。2 月にワークショップを行った場合は 3 月頃に助成金額が確定する見込みです。		

▼

ここからが本格的な「ジェンダー視点のある地方創生」の本格的なスタートです。  
みらい RITA では引き続きさまざまな伴走支援を行っていきます。

## 未来ワークショップとは

過去の延長線上から考える＝フォーキャストिंगでは、解決できない複雑な問題がたくさんあります。問題を起こしてしまったままの古い考え方では解決法が見つかりませんが、そんな時は、発想を変えて未来から考えてみる＝バックキャストिंगが有効です(下図)。

「未来ワークショップ」では、参加者全員で、長期的な未来(2040～2050年)の理想的な姿(ありたい地域の姿)を描きます。具体的なありたい姿をみんなで創り、価値観を共有することで、その未来を実現するための行動変革が起こしやすくなり、変化のスピードも早くなります。



### 未来ワークショップの主な流れ

#### 1. 事前準備

- ・ 助成が決まった団体が未来ワークショップの目的に沿って多様な立場の参加者を集め、会場を確保します
- ・ また、模造紙やポストイット、ネームカードなど、必要な文具を準備します

#### 2. 未来ワークショップ実施(約2時間)

- ・ ファシリテーターより、ワークショップの進め方を説明するとともに参加者の目線合わせのための基礎状況を共有します
- ・ ファシリテーターより未来のシナリオづくりの前提条件を説明します
- ・ 次に参加者がグループディスカッションをして、将来への不安を出し合ったうえで、未来のシナリオプランニングで、絶対になってほしくない最悪の未来の姿を描きます
- ・ 次に真逆の不安がなくなったシナリオとして、未来の理想的な姿(ありたい姿)を描きます。
- ・ それぞれのシナリオをグループごとに発表し、次にありたい姿に近づくためのアクションのアイデアを出し合います
- ・ 1日目は「ユース」(10代～20代の若者)を中心に実施し、2日目は地方公共団体(行政)、地域経済団体(商工会議所、企業・地域金融機関・経営者の団体・グループ等)、応募団体はじめとする市民社会団体がユースの声に応じて「ありたい未来の姿」を共に描き、それを実現するための具体的なアクションのアイデアを出し合います。

#### 3. フォローアップ

- ・ ワークショップで出たアクションのアイデアを、関係者で話し合い、「アクションプラン」を短期と中長期の具体的な計画に落とし込んでいきます



## 4. 対象となる団体

- ジェンダー平等への強いコミットメントを持つメンバーが活動する団体。
- 地方公共団体および地域経済団体(商工会議所、企業・地域金融機関・経営者の団体・グループ等)とのネットワークもしくは協働実績を有する団体。
- 国内に主たる事務所と活動を有する公益財団法人、公益社団法人、社会福祉法人、特定非営利活動法人(NPO 法人)など非営利活動・公益事業を行う法人格を有している団体。  
※一般財団法人および一般社団法人は非営利型のみ対象とします。  
※原則として、法人格を持たない任意団体は対象外となりますが、助成対象期間中に非営利法人格に移行する予定がある場合は、対象とします。
- 「助成先団体に求める対応(10 項参照)」に合意頂ける団体。
- 政治・宗教活動を目的とせず反社会的な勢力とは一切かかわりがない団体。

ただし、上記の団体であっても、次に該当する場合は除きます。

- YUI 未来助成事業の申請時、及び助成期間において、みらい RITA 基金またはシャネル財団の助成を受けている団体。
- 過去において法令等に違反する等の不正行為をし、不正を行った年度の翌年度以降 5 年間を経過しない団体。

## 5. 助成金額

- 1 案件あたりの上限助成金額 700 万円(下限金額:200 万円)
- 支払い方法: 半期ごとの前払い ※残金がある場合は、助成期間終了後返還して頂きます
- 助成総額 3,000 万円(予定)
- 採択予定件数 4~7 件(予定)

[申請にあたってのご留意事項]

- 予算は「未来ワークショップ」開催後にアクションプランを詰めるなかで作成頂きます。「みらいワークショップ」開催後にお渡しする所定のフォーマットにある費目に沿ってご作成頂くことになります。
- 下限金額である 200 万円以上、上限金額である 700 万円以内で予算を作成して頂きます。
- 助成金額のうち、①ジェンダー視点のある地域創生の取り組みと、②組織基盤強化の割合は、指定はしません。地域の取り組みとのバランスを考慮して予算を作成してください。②組織基盤強化だけの助成は行いません。
- 団体の実施能力や収入源の脆弱性(本助成以外に収入源が非常に限られている等)に対して申請金額が大幅に大きい場合は、団体の財務の健全性が損なわれる可能性がありますので助成後の中期的な組織の維持・発展の見通しに応じた金額を申請ください。左記の観点により、最終的には助成額を決定させていただきます。
- 不動産の取得、車両の購入、受益者個人への直接給付は対象となりません。

## 6. 応募について

**申請書受付期間 7月20日(木)午前10時～9月30日(土)15:00 (必着)**

**重要: 応募の際の提出内容は次の通りです**

- 団体登録
- 申請書、団体の直近年度の事業報告書・決算報告書 ※作成していない場合はその旨お知らせください

[応募手続き]

次の手順でご応募ください。

		やること	リンク(クリックしてください)
<input type="checkbox"/>	必須	申請書式をダウンロードする。	<a href="https://mirairita.org/yui-mirai/index.html#link04">こちらから https://mirairita.org/yui-mirai/index.html#link04</a> ダウンロード頂けます。
<input type="checkbox"/>	必須	申請書のドラフトを作成する。	
<input type="checkbox"/>	必須	団体の直近年度の事業報告書・決算報告書を準備しておく。 ※作成していない場合はその旨、応募の際にお知らせ頂きます	
<input type="checkbox"/>	必須	団体登録をする。 ※申請する方は必ず事前に団体登録をお願い致します。申請書の締め切りは 2023年9月30日15:00 ですので、 <b>団体登録はその前に十分に余裕をもってお願い致します。</b> 団体登録から申請書の提出まで間が開いても構いません。	<a href="https://mirairita.org/yui-mirai/form.html">こちらから https://mirairita.org/yui-mirai/form.html</a> 団体登録をお願いします。
<input type="checkbox"/>	必須	申請書を完成させる。 ※提出後の差し替えはできませんので、 <b>内容に間違いがないか十分にご確認ください。</b>	
<input type="checkbox"/>	必須	申請書、予算書を提出し、応募する。 <b>締め切り: 2023年9月30日15:00</b> ※応募期間締め切りの直前は、 <b>回線が混雑しますので、お早めにご応募ください</b>	<a href="https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeaKmmSSCG5bCz9WSQYk1oj7iIsVLS-okJ260iJYGldwNKGgQ/viewform">こちらから https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeaKmmSSCG5bCz9WSQYk1oj7iIsVLS-okJ260iJYGldwNKGgQ/viewform</a> ご応募をお願いします。

[応募時のファイル名変更のお願い]

**応募の際は、申請書のファイル名を「地方\_団体名.docx」としたうえでアップロードをお願いします。**

(例: 地方\_みらい RITA.docx)

[注意事項]

- 原則として、電子メール、郵送、ご来所、FAX による応募は受け付けておりません。ただし、応募フォームがうまく作動しない等のトラブルがあった場合は個別にご相談頂き対応致します。(ご連絡先: yuiinfo@mirairita.org)
- 申請書及び予算の差し替えは受け付けられませんので、送信前に必ずご確認ください。
- 申請書のデータは、選考結果が通知されるまで必ず保管してください。

## 7. 事前説明会・個別の相談会について

### (1)事前説明会について【任意のご参加です】

オンラインによる説明会を開催致します。

[こちらから](#)

<https://mirairita.org/yui-mirai/index.html#link05>

説明会の日程確認、申込を頂けます。

### (2)ご質問について【任意のご利用です】

募集要項の内容でわからない箇所があるときなど、必要に応じて YUI みらい事務局にお問い合わせくださいませ。 ※2 営業日以内に返信致します。

[こちらのお問い合わせフォームから](#)

<https://mirairita.org/yui-mirai/contact.html>

ご質問を送れます。

### (3)個別の相談会について【任意のご利用です】

申請内容に関する不安・不明点等について、個別相談をご利用頂けます。できるだけ多くの団体に機会をご提供するために、原則として1団体あたり1回とさせていただきます。時間は 30 分です。

※相談申し込みの受付は 2023 年 9 月 1 日までです。枠に限りがあるため、お早めにお申し込みください。

[こちらから](#)

<https://mirairita.org/yui-mirai/consultation.html>

個別相談のお申し込みを頂けます。

## 8. 選考方法

- 申請書類は、事務局による整理のうえ、外部の専門家を含む選考委員会における厳正な審査を経て、同委員会委員と、みらい RITA 役員で採択団体を最終的に確定します。
- 審査は 2 段階で行われます。1 次審査の方法は書面審査とします。ただし、必要に応じて、内容確認のために応募団体に対するヒアリングを実施させて頂く場合がございます。
- 第 2 段階は、1 次審査を通過した応募団体に対する外部有識者委員会による面接です。その後厳正な審査を経て、同委員会委員と、みらい RITA 役員で採択団体を確定します。
- 最終的な助成金額は、未来ワークショップの結果のアクションプランと予算に基づき、決定します。

【審査の視点】以下の視点に基づき総合的に審査します。

### (1)要件への合致

- 応募団体の要件を満たしているか(「4. 対象となる団体」の項ご参照)

### (2)ビジョンと情熱

- 応募団体は当該地域の男女格差・ジェンダー不平等の現状と課題を説明できるか(必要に応じて説明内容に根拠を示す)
- 解決に向けたイノベティブな発想を有しているか
- ジェンダー不平等の解消が、地域が抱える人口減少等の社会課題の解決や持続可能な地域社会の構築にどのようなインパクトをもたらし得るかについて、明確なビジョンがあるか
- (面接において審査)ジェンダー平等社会に向けた強い情熱があるか

### (3) 取り組みにおける協働・共創

- ・ 「官・民・市民社会の連携を通じた変革」を可能とし得るネットワークや関係性を有しているか
- ・ 若い世代を含む多様な世代の参画を促進し得るネットワークや関係性を有しているか

### (4) 組織基盤強化における計画性

- ・ 組織基盤の強化に関し目的と目標が明確であるか
- ・ 組織基盤の強化の効果が一過性のものではなく、持続的な組織の発展への貢献が期待できるか

## 9. 選考結果の通知

2023年10月31日(火)までに、申請書に記入された担当者を通じてすべての応募団体に対し、選考結果をメールにてご連絡をします。申請後に担当者に変更があった場合は速やかに当財団までお知らせください(yuiinfo@mirairita.org)。

- ・ 選考が通った団体が未来ワークショップの準備と、その後のフォローアップのための準備金として、各団体一律 30 万円を助成します。地域内の交通費や文具の購入、人件費の補填等にご利用ください。
- ・ 選考が通った団体の最終的な助成金額は、その後未来ワークショップの開催とアクションプラン・予算提出を経て確定します。確定し次第、契約書を結び、速やかに第一回の送金します。
- ・ 助成を辞退する団体は、早めにお申し出ください。

## 10. 助成先団体に求める対応

- ・ 助成金の適正な使用
- ・ 適切なガバナンス・コンプライアンス体制の整備
- ・ 活動の進捗ミーティングの対応(4 半期に 1 回程度。報告書の提出は不要で、オンラインまたは現地訪問時のミーティングを行い、みらい RITA によるポートのニーズの特定等を行います)
- ・ その他随時みらい RITA とのコミュニケーション
- ・ YUI みらい助成の運営やみらい RITA のかわり方について率直にご意見をくださること
- ・ 助成を受けた団体同士の知見共有
- ・ 会計報告書の提出(6 か月に 1 回)※テンプレートを用意します
- ・ 完了報告書の提出 ※テンプレートを用意します。できるだけ活動がわかる写真や映像を入れてください。
- ・ みらい RITA WEB ページに掲載する活動の写真の提供と、取材の対応

## 11. お問い合わせ先

公益財団法人 みらい RITA  
YUI みらいプロジェクト事務局

お問い合わせフォーム

<https://mirairita.org/yui-mirai/contact.html>

E-mail:yuiinfo@mirairita.org

※お問い合わせは、極力フォーム にてお願い致します。

## 12. 応募に関する個人情報の取扱いについて

応募時に提出頂いた個人情報は、「公益財団法人みらい RITA 財団 個人情報保護方針」(下記)に則り、本助成の選考にかかわる業務にのみ利用致します。

なお、助成対象となった団体は、団体名、代表者氏名、本事業の活動地域、実施内、助成金額を当財団のウェブサイトや印刷物において公表します。

また、応募頂いた皆様へ、公益財団みらい RITA が主催、共催、協賛、協力するプログラムの案内 等の情報を電子メール等で差し上げることがあります。不要な方は、送付を止められます。

上記、「個人情報の取り扱いについて」に同意のうえ、「YUI みらい」にご応募ください。

### みらい RITA 個人情報保護方針

#### 1. 個人情報の取得について

当財団は、利用目的を明確にし、適法かつ公正な手段により、個人情報を取得します。

#### 2. 個人情報の利用目的について

当財団は、あらかじめ個人情報の利用目的を公表もしくは通知し、法令等により認められる場合を除き、ご本人の同意を得ないで、取得した個人情報を利用目的以外では利用しません。

#### 3. 個人情報の第三者への提供について

当財団は、個人情報を保護するため、法令等により認められる場合を除き、あらかじめご本人の同意を得ることなく、個人情報を第三者に提供しません。

#### 4. 個人情報の管理について

- ・当財団は、個人情報の正確性を保ち、これを安全に管理いたします。
- ・当財団は、個人情報の紛失、破壊、改ざん及び漏洩などを防止するため、不正アクセス、コンピュータウイルス等に対し、適切な安全対策を講じます。

#### 5. 個人情報の開示・訂正・利用停止・消去について

個人情報について、開示、訂正等のご要求があった場合は、ご本人であることを確認させていただいたうえで、適切に対応します。

## 別紙： 申請書作成の手引き

お願い	申請書は9ページ以内に収まるようお願い致します。 応募の際はファイル名を「地方_団体名.docx」にしてお送りください。
-----	---

YUI 未来プロジェクト  
**ジェンダー視点のある地方創生助成**  
申請書

団体名	
-----	--

対象とする自治体名 例：〇〇県□□市	
-----------------------	--

自治体の人口	
--------	--

**本取り組みにかかわる自団体のメンバー**

※現在想定される範囲の記入で大丈夫です

※必要に応じて行を増やしてください。

氏名 (通称名)	年代		主な役割
例：未来 ゆい	30	代	事業全体の統括、工程管理、渉外
		代	
		代	
		代	
		代	
		代	

現時点での予定で結構です。新規採用予定の場合は、氏名の欄は(助成決定後採用予定)とご記入ください。その場合、年代の記入は不要です。

**1. 「ジェンダー視点のある地方創生助成」に応募する動機を教えてください。**

**2. 実現したい地域の姿(ビジョン)をご記載ください。**

地域のありたい姿について、中長期的な視点で自由にご記載ください

**3. あなたの地域の男女格差・ジェンダー不平等の現状と課題について、本助成制度を活用して解決したい問題を  
中心に具体的に記述してください。**

説明内容に根拠（行政データやアンケート・ヒアリング結果などの情報等）があれば、それらを添えて記述してください



**4. 上であげられたジェンダー課題の解決に際して、どのような障壁が予想されますか。また、障壁を取り除くために、どのようなアプローチや手段が有効だと思いますか。**

現時点での応募団体のお考えで結構ですので、具体的に記述してください。

※地方創生助成の、実際の取り組み内容は助成が決まった団体が全体調整をして行われる「未来ワークショップ」の結果によって決まります。

5. ジェンダーギャップの解消は、人口減少等、地域全体の課題の解決や持続可能な社会づくりにどのようなインパクト/波及効果をもたらすと考えますか。

6. 現在つながりがある関係者のうち、どのような方々が、「未来ワークショップ」やその後のアクションプランづくり、実行に協力・参画する可能性があるのか、差し支えない範囲で教えてください。

種別	組織/部署名、現在のかかわり方等
地方公共団体	<p>記入例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□□市役所〇〇課が実施する、市民向け△△講座事業(全 10 回)を 2019 年から毎年受託</li> <li>〇〇課が担当で開催する△△会議(2022 年度)に、当団体代表が委員として参加</li> </ul>
地域経済団体（商工会議所、企業・地域金融機関・経営者の団体・グループ等）	
ユース(10～20 代)のグループ、またはユースの窓口になるような関係者・組織	<p>記入例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内の〇〇高校から、毎年 1～2 名を職場体験で受け入れている。それ以外のつながりはない。</li> </ul>
NPO や女性グループ等	
その他（教育機関、研究機関、メディア、議員等）	

7. 現時点で協力者・協働者として、具体的な関係性ができていなかったとしても、取り組みのために、関係を作っていきたい団体・個人など、考えられる対象がいましたら、ご記入ください。

この項目は審査の対象ではなく、申請する団体様のニーズをみらい RITA が把握するためのものです。  
 具体名を出さなくても結構ですので思いつく範囲、想像の範囲のご記入頂ければ幸いです。

例：市内にある〇〇大学の学生たちに未来ワークショップに参加していただき、その後も何かの形で参画し続けてほしい。

なければ空白で結構です。

**8. 本助成を活用するにあたって、自団体が発揮できる強みについて、どのようなものがあるとお考えか記述してください。**

メンバーの有するネットワークや経験等、強みと思われることを教えてください。

**9. YUI みらいの支援による組織基盤強化の目的をご記載ください。**

地域でジェンダー平等を進める団体として、どのような目的で組織基盤強化を行いたいか自由にご記載ください

10. YUI 미래の支援による組織基盤強化によって、組織がどのような状態になることを目指すのか、現状の課題と照らして助成期間終了後の姿をご記載ください。

現状の課題	YUI 未来の支援による組織基盤強化で目指す あるべき姿
<p>組織強化によって取り組みたい課題をご記載ください</p>	<p>2 年間取り組んだ結果、組織がどのような姿(状態)になることを目指すのかをご記載ください</p>